２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL. １１

幼児教育研修（年齢別担任研修０歳児　第１回）　　受講者数　９４名

日時　令和３年６月２４日（木）　１５：００～１７：００

場所　竹の塚地域学習センター

講師　お茶の水女子大学　こども園前施設長　　私市（きさいち）　和子氏

【内　容】

～０歳児一人一人にとっての心地よい生活をさぐる～

乳幼児期は、一人一人の生理的欲求が十分に満たされ、主体として育つことが重要である。保育者は生活と遊びの両面から乳幼児期に大切な保育者の関わりや保育環境についての学びを深めていきます。

講師　私市　和子氏

【受講者の感想】

＊　研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

- 一人一人の最善の利益と心地よい生活とはどういうことかを具体的に学べた。「お腹がすいた」などの生活のリズムを守り、「あれが欲しい」などの感情を受け止め、自分の気持ちを安心して表すことができ、気持ちが通じ合う信頼できる存在として今後も努力していきたい。
- 表情、しぐさで子どもが伝えたいことを理解し、その思いに寄り添って言葉をかけていくことで信頼関係ができ、保育者が安心できる存在になっていく大切さを学んだ。今後も子どもにとって信頼できる保育者になれるよう受容的・応答的な温かいまなざしで保育をしていきたい。
- 子どもは複数の音の中から必要な声を拾うことができないことを学んだ。大きな物音や保育者の声の大きさに気を付け、話しかけるときは、その子に聞こえる声の大きさで穏やかに話すよう心がけたい。
- 食事はお腹を満たすことだけでなく、自分の手でつまんで食べる達成感、表情から読み取れる気持ちに寄り添い、その思いを代弁する等食事の大切さや口の周りの筋肉が発達、発語と深い結びつきがあることを学んだ。日頃から声にならない子どもの声をキャッチしていきたい

＊　ご意見・ご感想

・保育現場で見られる子どもの様子を取り上げ、具体的な対応事例を用いての講義であったので、イメージがわきやすく理解しやすかった。

２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL.３９

幼児教育研修（年齢別担任研修　０歳児　第２回）　　受講者数７０名

日時　令和３年１１月９日（火）　１５：００～１７：００

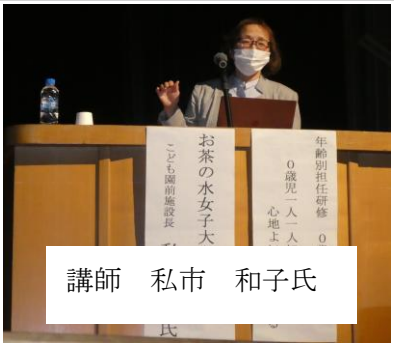
場所　竹の塚地域学習センター　４階ホール

講師　お茶の水女子大学　こども園前施設長　私市（きさいち）　和子氏

【内　容】

～０歳児一人一人にとっての心地よい生活をさぐる～

乳幼児期は、一人一人の生理的欲求が十分に満たされ、主体として育つことが重要である。生活と遊びの両面から乳幼児期に大切な保育者の関わりや保育環境についての学びを深めていく。



講師　私市　和子氏

【受講者の感想】

＊　研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

- 保育映像の室内環境がとても参考になった。自園でも子どもたちが指先を使うことを楽しむ時期になったので、壁掛けの玩具をいくつか作って設置していこうと思う。また、子どもたちが段差の登り降りを繰り返し楽しむようになってきたので、牛乳パックを利用した台を作り、満足するまで楽しめるような環境を作りたい。子どもの発達にあった手作り遊具や子どもがやりたいことを見極めて今後も環境を設置していきたい。設定するだけでなく、様子を見て柔軟に変更していくようこころがけたい。
- 遊び、食事、睡眠のリズムを家庭と連携していくことの大切さを学んだ。初めて出合う食べ物、好きなものを徐々に増やしていく関わり方を大切にしていきたい。
- 今まで、子ども同士で取り合いになった際に「かして」「まっててね」と双方に伝えていたが、それぞれの子どもの心の声に耳を傾け、必要な代弁をするなど一人一人の気持ちに寄り添っていきたい。
- パーテーションを使い、給食の場と遊びの場を分けることで子どもが落ち着いて過ごしている保育映像を見た。自園では一つの大きな部屋で過ごしているので、絵本コーナー、ままごとコーナーなどをパーテーションで区切るなど工夫を加えながら、子どもの発達にあった環境を整えていきたい。
- コロナ禍で、マスクを着用しての保育で表情が伝わりにくいが、子どもたち一人一人にしっかり言葉を届けることや優しいトーンでの語りかけを行うことで気持ちの疎通ができるということを学んだ。ポジティブに考え、言葉かけの仕方を意識して保育をしていきたい。
- 日誌やエピソード記録を振り返ることで様々な気付きが増え、より一人一人に合った保育を行うことができた。今後もクラス会議の中で子どもの様々なエピソードを出し合い語り合っていきたい。

＊　ご意見・ご感想

- 保育映像やエピソード記録を踏まえての講義だったので、具体的な保育者の関わりや保育室の環境構成について学ぶことができた。

２０２１年度　　足立区　保育研修報告　　VOL.61

幼児教育研修　（年齢別研修　０歳児　第３回）　　受講者数６６名

日時　令和３年１２月９日（木）　１５：００～１７：００

場所　竹の塚地域学習センター　４階ホール

講師　お茶の水女子大学　こども園前施設長　私市　和子氏

【内　容】

～０歳児一人一人にとっての心地よい生活をさぐる～

乳幼児期は、一人一人の生理的欲求が十分に満たされ、主体として育つことが重要である。生活と遊びの両面から乳幼児期に大切な保育者の関わりや保育環境についての学びを深めていく。

講師　私市先生

【受講者の感想】

＊　研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

・　保護者への援助という講義では、保護者に教えようとするのではなく子育ての大変さに共感していくことが大切であるということを学んだ。保護者の心の拠り所となれるよう、子どもの成長を一緒に喜び、共感していきたい。

・　子どもは様々なものに出会い、遊びながら自分の世界をどんどん広げている。その出会いの場となるのが、身近な環境である場、物、人であり、時間もその一つであることを学んだ。もっと遊びたいという子どもの思いに寄り添い、満足するまで待つことを大切にしていきたい。

・　子どもの遊びを中断させたり、禁止させたりすることのない保育室を作ることが大切であるという話が印象に残った。一人一人の遊びをよく見て、子どもがやってみたいと思える室内環境を作っていきたい。

・　子どもの行動の一つ一つにしっかりとした理由があるため、保育者が子どもの姿に合わせて対応を変えていくことが基本であることを学んだ。子どもの姿を肯定的に受け止めながら、なぜそのような行動をしたのかを考えて、物的環境や人的環境を見直して改善していきたい。

・　午睡チェックは命の確認であるという講師の言葉が胸に刺さった。この言葉を胸にとめ、安全管理を実施していきたいと思った。

＊　ご意見・ご感想

・　私市先生の研修には子どもに対する愛情が講義の中にあふれていて、受講後はいつも温かい気持ちになれた。

・　コロナ禍で意見交換ができなくても、事前に提出した各園の様子をまとめて紹介してもらえたことで、他園の情報も知ることができた。

・　すぐに実践できる具体的な例や内容がいくつもあった。また明日も保育を頑張ろうと思えた。